

武蔵丘ゴルフコース(日高市)、西武園ゴルフ場(所沢市)の4コースは、3月16日〜4月15日の期間、ゴルフ場で桜を満喫する新たな取り組みとして、桜デザインの新ラッピング乗用ゴルフカートの導入や、コースマップに桜が観賞できるポイントを示した桜マップの配布、桜をテーマにしたレストランメニューの販売。ゴルフプレーだけでなく、春のゴルフ場を存分に堪能し、この時期にしか体験することができない、ゴルフ場ならではの「桜体験」を提供する。

桜デザインラッピングのゴルフカートは、1日1組(最大4名)限定の事前予約制。プレー料金とは別途料金。桜デザインゴルフボール(2個入り)のプレゼントが用意されている。



詳細および問い合わせは左記まで。
 久邇CC: 042-973-1192(代)
 武蔵丘GC: 042-973-3333(代)
 新武蔵丘GC: 042-974-5111(代)
 西武園ゴルフ場: 04-2925-8111(代)

スタジオアイが4店舗目の『ステップゴルフプラス宮内店』をオープン

エスエーホールディングスのグループ会社スタジオアイは、フォトスタジオ3店舗とインドアゴルフスクール『ステップゴルフプラス宮内店(廿日市市)』を2024年12月6日に同時にオープンした。『ステップゴルフプラス宮内店』は先行入会受付の開始で、プレオープンが2月1日、グランドオープンが3月1日となる。先行入会には割引キャンペーンや特典が用意されている。

ステップゴルフはスタジオアイの直営で4店舗目。写真スタジオの運営と親子3世代で楽しめるゴルフ人口創出を通じて、健康寿命延伸や人生のやりがいを感じるウェルビーイング事業に取り組んでいる。



ステップゴルフ+

鹿沼グループ新ポイント制度スタート

鹿沼グループは、DX化によりこれまで受付業務を行っていた時間を有効活用し、来場者とのコミュニケーションや対話によるサポートとサービスを充実させている。その一環として、1月より自社予約システムにおいて、新たなポイント制度を開始した。

同グループのWEBサイトから予約を行うと、代表者に100ポイントを付与。ポイントは次回以降、WEBから予約する際に利用することが可能になる。

2021年よりDXを積極的に推進し、LINEと自社予約システムを連携している同グループは、セルフでのチェック



イン・チェックアウトを促進している。自社WEBの会員は2万6000人を突破。予約での利用率30%、セルフチェックイン利用率も30%、セルフチェックアウトの利用率は90%を超えている。LINE登録者も積極的に集めており、開始3年で2万6000人を有している。

鹿沼グループの詳細およびWEBサイトは左記まで。

- ・鹿沼カントリー倶楽部
https://www3.golftoyaku.jp/rsv_sys/kanuma-g/kanuma45/mcalendar/
- ・鹿沼72カントリークラブ
https://www3.golftoyaku.jp/rsv_sys/kanuma-g/kanuma72/mcalendar/

栃木ヶ丘ゴルフ倶楽部

ゴルフで社会貢献 難病の子どもと家族を応援

公益社団法人難病の子どもとその家族へ夢を、チャリティゴルフカップを立ち上げることを発表した。

これまでに300を超える難病を患う子どもとその家族、活動を支援、協力してくれる人々と出逢ってきた同法人は、多くのことを学んだと言う。その一つに「FAMILY」があり、難病を患う子どもと家族から教わった「FAMILY」をテーマに「LOVE FAMILY CHARITY CUP - HOPE IN ONE -」を開催する。

このチャリティゴルフカップに横峯さくらがアンバサダーとして就任。

横峯は、

「私はプロゴルファーとして、今も生きていますが、その中で結婚して、子どもを授かる『前と後』では、大きく人生観が変わったように思っています。子どもを授かる前は、『自分』や『勝敗』が第一にあったように思いますが、母となって夫や我が子とともに生きている現在では、その『幸せの価値観』が変わってきたように思える瞬間があります。もちろん自分

ONOFF golf matters



ONOFF DRIVER AKA / IRON AKA
<http://onoff.globeride.co.jp>
 GLOBERIDE, Inc.

◆全芯主義◆
 NEW ONOFF AKA

ONOFF golf matters



ONOFF DRIVER KURO / IRON KURO
<http://onoff.globeride.co.jp>
 GLOBERIDE, Inc.

黒の力。重力主義。
 NEW ONOFF KURO

共栄社がI-HIアグリテックの芝草・芝生管理機器事業を譲受

や勝敗にこだわることも大切なのですが、その優先順位がその時に応じて変わることを感じるのです」

まさに「FAMILY」の力、効力であると感じた同法人は、横峯とともにプロジエクトを永続的に継続していくこととなった。

共栄社は、I-HIアグリテックの芝草・芝生管理機器事業を譲受することを発表した。

I-HIアグリテックは、I-HIが新たな設立する会社に対して吸収分割の方法で芝草・芝生管理機器事業を継承させ、共栄社は、新設会社の全株を取得する予定。

共栄社はゴルフ場やサッカー場などのスポーツ施設、公園、河川堤防などの整備に必要な芝草・芝生管理機械の設計・製造・販売・サービスを展開している。

近年の国内ゴルフ場等の市場における人手不足・合理化等の要因による管理機械及び無人機の需要増加、また長年取り組んできた海外市場における急激な市場拡大に伴い、製造能力の強化が必要と判断。市場環境の変化に迅速に対応するための施策として、I-HI及びI-HIアグリテックと対象事業の譲受に係る協議を重ねてきた。